

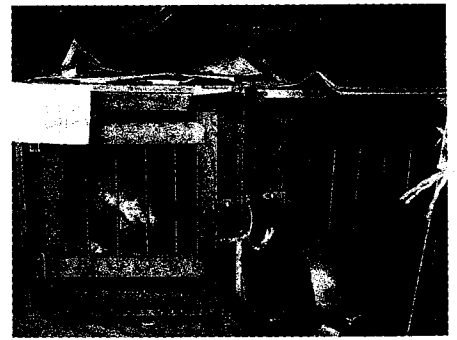
た動物には、食べ物と隠れ場を見つける自由が許されたことになりません。しかし、ほとんどの犬は鎖につながれたままです。自然の猛威から逃れようもなく、頭上には火山灰がはげしく降りかかってきます。家の中に取り残されたまま死んでしまった動物もいます。

いくつかの動物保護団体からの訴えにもかかわらず、地元自治体と警察は、飼い主などが身動きのとれないペットを救出しに行くことを認めませんでした。1ヶ月以上たって、2、3人の動物保護活動家が立ち入り禁止区域に危険を冒して入りました。彼らが確認したのは、家の中に残された動物の死亡原因が脱水症状と飢え（または、そのいずれか）であるということです。しかし、その試みは評価されるどころか、彼らは逮捕されてしまったのです。

住民がやっとのことで連れ出した動物（ほとんどが犬と猫）は、数箇所の避難センター付近か、または、北海道獣医師協会が設立したシェル

ターで飼われています。避難センターでは、動物は建物の中に入れてもらえません。体が濡れるのを防ぐ簡単な小屋すらなく、凍てつく風と雪の中、外でつなぎっぱなしにされています。避難センターに入ることを拒んで、ペットと共に自家用車の中で暮らす住民もいますが、実は、これもまた禁止されており、動物は車の中に入れておいてはいけないうことになっているのです。

自然災害というものは、影響がいつまで続くのか、どれくらいの間、人々が避難生活を送らなければならないのか、予測できるものではありません。今回、獣医師協会が設立したシェルターは、間に合わせのプレハブ造りで、動物はバリケネルに収容され、ボランティアか飼い主が散歩に連れ出すというやり方をとっていますが、1週間かそこらなら、これでもまあ良いでしょう。しかし、このような状態が長期間続くと、動物はストレスを受け、さらには、ストレスが原因で病気になることが多



いのです。もちろん、獣医師たちは、このことを十分に承知しているはずです。そのうちに、ボランティアも人手不足に陥り、獣医師も通常の診療業務に戻らなければならなくなるでしょう。

日本政府は、災害非常時のガイドラインと計画に動物を含めて考えるべきです。そうでなければ、いつまでたっても、自然災害に有効な対策をとれない国だという汚名を注ぐことはできません。雲仙普賢岳、神戸、有珠山…災害は、数限りなく起こりました。そして、これからも、発生します。過去の教訓を生かすために、あと何度同じことを繰り返さなければならないのでしょうか。

Animals which people managed to bring out with them, mainly pet dogs or cats were either kept near the evacuation centres or at a shelter set up by the Hokkaido Veterinary Association. At the evacuation centres animals were not allowed inside, instead dogs were chained outside in the freezing wind and snow without even simple kennels to keep them dry. Some people refused to go into the evacuation centres, choosing instead to stay in their cars with their pets but this was also forbidden and pets were not allowed to be left in cars.

It is impossible to know in any disaster how long the effects will last, how long people will remain evacuees. So the shelters like the one set up by the Veterinary Association where animals are kept in varikennels inside temporary prefabs and taken for walks by volun-

teers or their owners is alright for a week or so but over time these conditions lead to stress and stress-related illnesses which of course the veterinarians are very much aware of. In addition, volunteer supplies dry up and the vets have to return to their practices. Japan's reputation for dealing efficiently with

natural disasters will remain tarnished as far as they fail to include animals in emergency guidelines and plans. Mt. Unzen, Kobe, Mt. Usu, the list is endless. How many more lessons have still not been learnt?

